吉原名物兩三種、通鮓此頃製尤奇、遊客通來多喰盡、樓中首尾十分宜、　柳庵書

〔守貞漫稿後集一類〕文政末頃ヨリ、戎橋南ニ松ノ鮓ト號ケ、江戸風ノ握リ鮓ヲ賣ル、烟華ノ地ナルヲ以テ粗行レ、後ニ大西芝居西隣ノ角江轉店シ、是亦今ニ存ス、是大坂ニテ江戸鮓ヲ賣ルノ始也、余在坂ノ時ハ、此一戸ナリシガ、今ハ諸所ニテ賣之ト也、其外鮓ニ名アル道頓堀相生橋南ヅメ杉山、新町東口ノ口口鮓、サマバ明石口口淀川鮓麁製ニ大也、○略中

江戸鮓ニ名アルハ、本所阿武藏ノ阿武松ノスシ、ヲ略シテ松ノ鮓ト云、天保以來ハ、店ヲ淺草第六天前ニ遷ス、又吳服橋外ニ同店ヲ出ス、東兩國元町與兵衞鮓、○略中深川横櫓、小松鮨、○略下

〔毛吹草三〕近江　源五郎鯽　獵師大ナル鮒ヲ取度ニ、源五郎ト云聲ノ方ヘ遣ス故ニ、是ヲ源五郎ト名ツク、同鮨○略中大溝紅葉鮒同骨拔鮓

出羽　ハタ〳〵鮨　鯵ニ似タル魚也

〔料理無言抄一〕一鰛

氷見曲鮨　越中氷見にて仕込ばらのすし也、昔は魚大きにして桶に曲漬込故にいふ異名也、近年段々魚ちいさくして曲鮨のせんなし、尤名物也、春に至て風味ヲ增、

〔毛吹草三〕越中　松波鮓　世俗ニ鮎ノ鮓ト云、龍ニ似タル魚ト云、

〔燕居雜話四〕蛇鮓

俗に稀なる食物のことによそへて蛇鮓と云、全く據なきにあらず、王子年拾遺記前漢昭帝紀帝常以季秋月泛衡蘭雲鷁之舟、窮晷係夜釣於臺下、以香金爲鉤、繒絲爲綸、丹鯉爲餌、釣得白蛟、長三丈若大蛇、無鱗甲、帝曰非祥也、命大官爲鮓、肉紫骨青味甚香美、班賜群臣、帝思其美、漁者不得復得知爲神異之物とあり、又龍鮓と云るもあり、晉書張華傳云、陸機嘗餉華鮓于賓、時客滿座、華發器便曰、此龍肉也、衆未之信、華曰、試以苦酒濯之、必有異、既而五色香起、機還問鮓主、果云園中第積下得一白魚、質狀殊常、以作鮓過美、故以相獻と見えたり、